

2019 年度 第2回

## 平安朝文学研究会 研究発表会

日 時 2020 年 3 月 7 日 (土) 14:00～16:20

会 場 早稲田大学 戸山キャンパス (文学学術院) 39 号館 5 階 第 5 会議室

### ○ 研究発表 (14:00～15:00、15:20～16:20)

荒井 洋樹 (早稲田大学大学院文学研究科 博士後期課程)

#### 『うつほ物語』 大后宮六十賀屏風攷

『うつほ物語』 菊の宴に描かれる大后宮六十賀屏風には、「右大将」を筆頭に貴顕が詠進し、和歌史的にも注目に値する。本発表では、『うつほ物語』の中で当該屏風が果たす役割を明らかにする。また、その和歌にも独自の表現が多く見え、それについても精読したい。

李 賢秀 (早稲田大学大学院文学研究科 博士後期課程)

#### 『源氏物語』 「蓬生」巻における「藤」とその香り

源氏が末摘花と再会する場面には、大和絵屏風の類型的な図柄として享受された「松にかかる藤」が描かれている。この絵画的な描写には、平安時代の文化的記号としての象徴性が潜んでいると予想される。本発表では、『源氏物語』 「蓬生」巻における「藤」とその香りの意味について考察する。

○ 懇 親 会 (17:00 頃～) 会 場 かわうち (新宿区西早稲田 2-3-22)

※どなたでもご参加になれます (無料)。

※当日は、同会場で 13:20 より委員会を開く予定です。

◎お問い合わせ 平安朝文学研究会事務局 (早稲田大学文学学術院 陣野英則研究室内)

E-mail : jinno@waseda.jp